

2019J2 ■順位表■ 第3節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	琉球	9p	+5	9	4
2	水戸	9p	+5	5	0
3	柏	9p	+3	4	1
4	甲府	7p	+4	6	2
5	京都	7p	+2	3	1
6	山形	6p	+3	5	2 HO
7	岐阜	6p	+2	4	2 --- ---
8	新潟	4p	+2	4	2
9	大宮	4p	0	4	4
10	長崎	4p	0	1	1
11	愛媛	4p	-1	1	2
12	山口	3p	-1	8	9
13	鹿児島	3p	-1	5	6
14	徳島	3p	-1	4	5 A●
15	岡山	3p	-1	3	4 HO
16	東京V	3p	-1	2	3
17	横浜FC	3p	-2	1	3
18	町田	3p	-3	1	4
19	金沢	1p	-2	2	4
20	福岡	1p	-3	1	4
21	栃木	1p	-4	0	4
22	千葉	1p	-6	3	9

次回HomeGame

第6節 vs. 京都サンガ

3/30 (土) 15:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

today's guest : **鹿児島ユナイテッド**

2018 J3 16勝9分7敗 勝ち点57:準優勝

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
	FC岐阜	鹿児島ユナイテッド
初顔合わせ	2019/03/09 J2 - 3節@長良川 岐阜 2-1 岡山	2019/03/09 J2 - 2節@白波スタ 鹿児島 0-1 甲府
	2019/03/03 J2 - 2節@鳴門大塚 徳島 1-0 岐阜	2019/03/02 J2 - 2節@西京極 京都 2-1 鹿児島
	2019/02/24 J2 - 1節@長良川 岐阜 2-0 山形	2019/02/24 J2 - 1節@白波スタ 鹿児島 4-3 徳島

鹿児島ユナイテッド:

1994 (平成6) 年創設の『鹿屋体育大学クラブ』を始祖とする『FC KAGOSHIMA (以下『FCK』)』と、1959 (昭和34) 年創設の『鹿児島サッカー教員団』を始祖とする『ヴォルカ鹿児島』が合併して2014年から現名称で活動。2016年からJ3参戦、2018年にはJ3で2位となり今年からJ2。さて、このFCKとヴォルカの合併にはFC岐阜セカンド (以下『セカンド』) が関係している。セカンドは2013年の全国社会人で3位となって権利を得た地域決勝の出場を辞退。代わりに出場したのは九州リーグ2位のFCKで、地域決勝・決勝ラウンドには九州リーグ1位のヴォルカとともにFCKも進出。結果、FCKが3位でJFL昇格権獲得 (1位のグルージャ盛岡はJ3へ、2位はフジアーノ岡山ネクスト)、ヴォルカは4位で終わり、地域決勝で上位だったFCKが合併の母体チームとなった (チーム登録番号が引き継がれた)。もしセカンドが地域決勝に出ていたなら、(FCKは地域決勝に出られなかった) 合併の母体チームはヴォルカになっていた可能性が高い。(吉田鑄造)

●ホーム開幕戦では勝利したものの、アウェイ戦では最後に失点し敗れたFC岐阜。ホームに戻ってきた3/9 (土) 第3節・岡山戦は、両チームとも激しくボールを奪い合う中、2トップが前線から激しくプレスをかけて相手を揺さぶる戦術が奏功して、相手のバックパスを奪った#9山岸祐也が素早くゴール前に送り、#10ライザが先制点を奪って前半を折り返す岐阜。後半すぐに岡山に中央突破を許してしまい、同点に追いつかれてしまうものの、再び勢いを取り戻し、またも前線で#9山岸がボールを奪ってゴール前へクロスを送り、#10ライザが相手のオウンゴールを誘発させて突き放す。その後、岡山の攻勢を受けるものの、守備陣がしっかりと跳ね返し、2-1で試合終了。2014年シーズン以来となる、ホーム開幕2連勝を達成した。

これでFC岐阜の成績は2勝1敗・得失点差はプラス2で7位。もちろん、まだ全42試合のうち3試合を消化しただけ。1試合の結果で簡単に順位が変動する状況、安心できるはずもないのだが、勝ち星が先行したことで選手たちも自信を持って試合ができることだろう。そして今節はクラブ史上初のJ2開幕ホーム3連勝を達成して、この勢いを本物の力へと変えていきたいところだ。

さて、今節の対戦相手は、公式戦初対戦となる鹿児島ユナイテッドFC。昨シーズンJ3で2位となり、今季J2初参入を果たしたチームだ。現在の成績は1勝2敗・得失点差はマイナス1で13位。開幕戦は徳島との試合を4-3で制してJ2初勝利。その後、京都と甲府に競り負けているが、その勢いは侮れない。昨季の琉球をJ3優勝に導いた金鍾成を監督に迎え、攻撃的なサッカーでJ2に乗り込んできた鹿児島だが、一方で毎試合失点を重ねており、守備面には課題が残る。岐阜の選手たちには、鹿児島の守備を突いて好機を逃さずにゴールを決め、また鹿児島の鋭い攻撃を跳ね返す守備で、スタジアムを沸かせて欲しい。

鹿児島の要注目選手には、鹿児島の攻撃を支える#28韓勇太を挙げる。既に2ゴールを決める1トップの大型FWを封じることが、岐阜が勝利するには必要だ。また、鹿児島の中盤を支配する#38中原秀人も2ゴールを決めている。そしてC大阪に16年間在籍したベテラン#20酒本憲幸も要注目だ。一方の岐阜では、昨季の琉球に所属して鹿児島と対戦経験のある#16富樫佑太のゴールに期待したい。また鹿児島には、かつて岐阜に在籍した#6田中秀人 (09~14年)、岐阜市出身の#27富成慎司 (09~12年) がいる。残念ながら今節のベンチ入りは厳しい状況だが、今後の岐阜戦以外での活躍を期待している。

そして、今節は岐阜県と鹿児島県の姉妹県マッチ及び海津市ホームタウンデー。岐阜サポ諸兄の多くはご存知だろうが、木曾三川・宝暦治水によって築かれた「千本松原」そして「治水神社」は海津市にあり、今も薩摩義士の功績を後世に伝えている。その感謝を忘れることはないが、しかしスタジアムでは正々堂々と戦うことこそが、相手に対する礼儀というものだろう。今節も変わらず、僕らFC岐阜サポーターは最後まで選手の背中を後押しする拍手と声を送り続け、今節も万歳四唱で勝利の歓喜を選手たちと分かち合おう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第3節】岐阜 2-1 岡山

●アウェイ徳島戦で試合終了直前に失点を許してしまった次の試合。気持ちを切り替えてホーム戦で勝てば、ホーム連勝となり再びチームに勢いづく、そんな大事な試合。しかも今日は…だけど選手が喪章を付けていない。ということは、つまり大木監督が断ったということだ。何というプロフェッショナル精神。だからこそ、余計に勝ちたいし、勝たせたい。試合は序盤から、激しいボールの奪い合いが進む。ボールの保持や敵陣への攻勢は、いくぶん岡山の方が上だったかと思う。だけど、ピンチは招きながらも岐阜の守備陣は決定機を許さない。それと、#9山岸祐也と#10ライザの2トップが前線でプレスをかけて守備に貢献しつつショートカウンターを狙う動きが効果を発揮する。というか、岡山も有馬監督になって「後方からボールを繋いでビルドアップしていくチーム」になったのねえ。徳島もそうだったけど、そうやって後ろで繋いでる時にボールを奪われてショートカウンターで失点するシーンを何度も経験してきた僕らから言わせれば……と、ほらやっぱりパス回しに慣れてないから、バックパスを#9山岸祐也に奪われて、無人のゴールに#10ライザにヘッドで押し込まれちゃうじゃないですか(笑)。一方で、岐阜は3年目の経験値の違いか、それほど後ろではボールを奪われない。というか今年の岐阜は、後ろでのボール回しを少なくして早めに前に出していると思うし、ショートパスを繋ぐ場所が、サイドべつたりの位置から少し中央寄りになって、そのまま中央突破を図ることも狙っていて、やっぱり戦術が進化?変化?していると感じた。後半に入って、やはり岡山に押し込まれながらも厳しいチェックで守る岐阜の選手たち。失点のシーンは少し偶然も重なってしまい残念だったけれど、しかし、昨年だったら連続失点しそうな展開なのに、そこで気持ちを切らすことなく守り続ける姿は、昨年との違いを感じさせた。そして、1点目と同じ様な形で#9山岸祐也が前線でボールを奪って素早いクロスを上げ、ゴール前に飛び込んだ#10ライザが…結局はOWNゴールだったけれど、あれはDFと競り合ってたからこそそのゴールな訳で、#10ライザに0.7点ぐらい差し上げてもいいな(笑)。

その後も、岡山の攻撃を受けつつも、ゴールは割らせない岐阜の守備陣。岐阜にとって幸運だったのは、岡山が#10レオミネイロの“正しい使い方”を分かっていたこと(苦笑)。だってレオは、縦ポンでボール放り込んでDFの裏を突破させて1人で得点獲ってくるのが得意な選手ですよ?なのにDFラインの前でボールを受けさせてたら活かせませんよ?昔の岐阜サポみんな知ってますよ?いや、ホント助かった(苦笑)。ただし#16富樫、あの1vs1は決めないと…ああいうゴールを外すと流れが変わってしまうこともあるのだから。十二分に反省して、次からはゴール量産して欲しいものです。そして“クローザー”#11前田遼一という、いいのかそんな贅沢な起用法(苦笑)。しかしスタジアムの空気がガラリと変わるし、何をすべきなのか知り尽くしてるベテランだから、安心して見てられるという意味では、この起用も今のうちではアリなのかなあ…一流の“万能ストライカー”のゴールも観たいのですけど。

苦しい試合展開だったけれど、それほど致命的な決定機は与えず(ただしゼロではない)、しっかりと守りきったFC岐阜。しかも相手にシュート本数でもボール支配率でも上回られたのにも関わらず、だ。ホーム連勝を達成して顔が緩みそうだったが、大木監督がインタビューで「順調なら勝ち点9です」とダメ出し(苦笑)。実に大木さんらしい…しかし、次の試合を見据えて気持ちを切り替えるには相応しい言葉だった。(ささたく)

●「順調なら勝ち点9ですね。」なんとと言っても、この日のハイライトはコレでしょ!インタビューアが「3節を終えて勝ち点6。目標の6試合毎に勝ち点10に向けて順調じゃないですか?」と振った質問の回答。岐阜サポならご存知かと思うが、

今季の目標は『勝ち点70』。6試合一区切りで、区切り毎に勝ち点10。全部で42試合なんで、目標をクリアしていけばトータルで勝ち点は70。コレをノルマ(たぶん)に掲げた監督。ソレを元ネタにしての問い掛けだったが、ソコはさすがの大木武。この回答、まさに『大木節全開!』である。スタンドからは爆笑、大歓声だったと思うが、同時に多くの人が安堵したのではないかと「ああ、よかった。」と。もちろん、心身ともに絶好調というワケではないだろう。それでも、このような状況でこのように受け応えができるということ。かくあるべし、とは思わないが、かくありたい、と思わせてくれる。選手から慕われる理由の一端を垣間見たような気がするね。

正直な話をすると、たとえ勝ったとしても、「果たして、それが手向けになるのか?慰めになるのかな?」と思っていた。その気持ちは今でも残っている。ただ、勝ってよかった。本当によかった。試合の後に、心底そう感じた。選手達の頑張りに、心意気に感謝します。アツイ試合を、勝利を勝ち取ってくれてありがとう!

その中で、自分的にMVPに推したいのはユーヤ。異論は認めるが譲る気はない。90分プラスアディショナルタイムに渡って、常にファースト・ディフェンダーとしてのハイプレスを掛け続け、ポスト役をこなしてくれた。その結果の2アシスト。一つはOWNゴールになっちゃったけど、彼の文字通り献身的なプレーの賜物であることに違いはない。あとは、あのシュートを決めてくれさえすれば……。本当に、10得点くらいはカンタンにやってのけると思ってるんだけどなあ。そーゆートコだぞ?ユーヤ。

あと、会津のバランスーとしての仕事っぷりにも、ちょいと感動。右サイドを柳沢が攻め上がった裏のスペースをマサノリが埋めに行き、ソコを竹田と会津が右にズレてフォローしていた。賢星なら2CBの間に落ちて、いわゆる『偽CB』としてバランスを取っていたが、ショーヘイに代わると対応が変わるんだなあ。そんなことを試合中に考えていたが、試合後のインタビューで会津も「上がるのを控えめに、バランスを取った」と答えていた。ボクも、多少はサッカーが見えるようになってきたのかしらん?

それにしても。大木体制三年目を迎え、いよいよ『大木サッカー』の集大成となるか、と思った今季だったが、この試合見てたら、どっちが大木さんのチームかな?と。過去2年の代名詞だった『圧倒的な支配率』とか『異次元のパス数』とか。それって何時代の話?と思うほどの変貌ぶり。ビクトルがショートパスでDFに繋げた場面ってあったっけ?ほとんどがロングキックだったような気がするけど記憶違い?確かに、監督は「ポゼッション・サッカーをしているつもりはない。」と語っていたように思うが、少なくとも昨季までのスタイルとは違っている。ボールが味方の間を行き来する様子は、あたかも蝶々が花から花へ移るような雰囲気から、最前線へのロングボールからガチガチのハイプレス。まるで、イモムシがサナギになって、「どんな蝶々が出て来るのかな?」と見てたら、出てきたのがカナブンだった。柔らかなイメージからガチムチのマッチョな姿へ。それくらいのビックリするような大変身。いや〜、コレって、もしかして、J2を戦い抜くための最適解なスタイル?コレで、パスも回せたら、いったい、どうなってしまうのか?想像するだに恐ろしい(ホメ言葉)。それでも、今のスタイルを、シーズンを通して貫くのは至難の業。徐々に疲労も蓄積していく。その時のために、というワケではないが、今はサブ、もしくはベンチ外になってる選手がどれだけやれるか?レギュラーを奪い取るくらいのパフォーマンスを見せられるか?が重要になってくる。誰が出てみても遜色ない。そんなレベルの試合を、そして、勝利を見ていきたいね。鹿児島戦、姉妹県ダービーも期待してます!(ぐん)